

“三重大生が行くインターンシップ、ここに注目”

第3回 東京海上日動火災保険株式会社

2019年4月23日、午後3時、東京海上日動火災保険株式会社の三重支店津支社を訪問しました。三重支店業務グループリーダーの吉田直子さん、副主任の橋本有香さんに対応していただき、今年度のインターンシップのことなど、いろいろ聞いてきました。リポーターは、人文学部3年佐久間朱音、生物資源学部3年藤田美来、人文学部3年山添日和、です。

佐久間：まず、東京海上日動火災保険の事業内容等を簡単にご説明していただけますか？

橋本：まず簡単に保険のことからお話しいたしましょう。保険には大きく分けて損害保険と生命保険があります。損害保険とは、車や家など、物にける保険であり、生命保険とは、人が亡くなったりケガしたりしたときに、人にける保険です。保険を通じて安心と安全の提供をし、1人でも多くのお客様のお役に立ちたいという思いで仕事しています。



人文学部学生：佐久間さん



三重支店津支社での取材風景

私たち損害保険会社のお話ですが、主に3つの部門があり、(1)営業部門は代理店さんを通じてお客様への保険の提供、この他、地方創生事業の立案・実行、さらに事故等で会社が損害を受けた場合の早期復帰のための事前計画立案を行っています。(2)損害サービス部門は、保険金支払いサービス(車をぶつけて家を壊した場合など)を、(3)コーポレート部門は商品開発やシステム開発、を行っています。本社は東京にありますが、売り上げの3分の2を全国にある各支店が占めています。ちなみに、三重県には営業部門と損害サービス部門があります。なお、従業員の部門配属に



副主任：橋本さん

ついては、入社後3か月の研修期を経て、希望を聞いて行います。

佐久間：何か働き方の特徴はありますか？

橋本：まず当社の働き方として、グローバルコースとエリアコースがあります。グローバルコースとは、国内外を問わない勤務地域において経験を重ね、キャリアアップを図るコースです。エリアコースとは、一定の勤務地域において経験を重ね、本人のキャリアビジョンに応じてキャリアアップを図るコースです。自分から手を挙げていろんなことにチャレンジ



三重支店津支社での取材風景

でき、JOB・リクエスト制度を活用すれば、例えば東京で働くことも可能です。人手が足りない地域にお助け隊として勤務し、そのままそこで働き続けることもできます。同じエリアで働いてばかりだと世界が広がらないから、最初にお助け隊として別のエリアで働いてさまざまなことを学習し、自分の地元のエリアに戻る人もいます。例えば、宮城出身の人がお助け隊として伊賀で3年間働き、宮城に戻る例もあります。また1ターン制度を利用すれば、結婚して居住地が変わっても、結婚先の地域で働くことができます。なお、こうした転勤がある場合でも、業務内容には違いはありません。この他、育児と



生物資源学部学生：藤田さん

両立するために、9～15時で働ける時短制度もあります。働く時間を調整でき、女性のライフスタイルに合った仕事もできますね。

藤田：では今年度のインターンシップについて詳しく聞かせて下さい。

橋本：三重大生対象のインターンシップを8月21日（水）～8月23日（金）の3日間行います。何年生でも参加できます。内容は主に営業部門、損害サービス部門での仕事体験です。

まず1日目午前に座学（保険会社の勉強）、代理店との打ち合わせ参加、ビジネスマナーの勉強を行います。1日目午後と2日目には見学、現場体験、3日目午前に社員との交流会を行い、3日目午後にまとめ、意見発表を行って終了となります。

吉田：インターンシップには、他にも名古屋で行われるプレミアムインターンシップもあります。

山添：では、インターンシップ生に何か期待することはありますか？

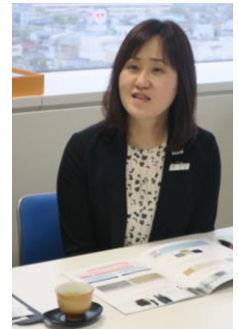
橋本：ちょっとでも気になったら気軽にきてほしいですね。好奇心を持って積極的にきてほしいと思っています。私たちも若い人の意見を聞きたいです。そして参加する以上は、何か1つでも残るものを得てくれれば嬉しいと思っています。

山添：御社で働かれていて、何かやりがいや大変なことというものを教えていただけますか？

橋本：そうですね。まず、やりがいとしては、お客様の「ありがとう」という感謝の言葉が本当に嬉しいです。仕事のやりがいを感じます。大変なこととしては、保険商品は多岐にわたるので、社員として代理店さんを支援するために、たくさん知識を入れなければならないことです。ただ、身につけた知識が代理店さんやお客様のお役に立つことがやりがいにつながっていると思います。なお、どの企業も同

じかと思いますが、新入社員は入社後、3か月をかけて仕事体験をしていただいた後に、個人にあった部署に配属しますので、必ずしも最初は希望通りではないこともあっていただきたいと思います。

佐久間：本日はどうもありがとうございました。頑張ります。



グループリーダー：吉田さん



人文学部学生：山添さん

取材を終えて・・・

佐久間：今回訪問して様々なお話を聞かせていただいて、保険を代理店に提供するだけでなく地方創生などにも取り組まれていたり、キャリアのコースによっていろいろな働き方ができたりと、今まであまり知らなかった東京海上日動さんの業務内容を詳しく知ることができ本当に良かったと思います。また保険会社についてもっと知りたいと興味を持つことができました。

藤田：損害保険会社の仕事内容が想像以上に多く、細かく分けられていたことに驚きました。また、その人に合ったスタイルで仕事ができるということにも興味

が湧きました。仕事を行うために知識を蓄えるという過程が一番大変なことだと思いましたが、その分、お客様から感謝の気持ちを返してもらえるとお聞きして、本当にやりがいのあるお仕事なんだなと感じました。

山添：実際に訪れてみて、オフィスが綺麗で働きやすそうだなと思いました。保険会社だということで営業が大変そうだというイメージを持っていましたが、取材してみるとそれは代理店の業務であり、ここでは代理店を支援する仕事であることがわかり、業界研究の大切さを知りました。



三重支店津支社玄関にて（取材終了後）